

のり養殖の季節を迎えてーのり漁場の環境動向ー

のり養殖には健全な種網の確保が重要で、育苗期は、のり網を張り込んでから 17 日以内に水温 20℃を下回らないと基部の発達不良により、のり芽が脱落してしまいます。

図 1 は水試が運用している漁海況情報発信システム (Ai-FISH) にアップされている 3 号ブイの 10 月の水温推移を示しています。10 月の海水温は、ほぼ昨年及び平年並みとなっています。豊浜地先の水温も同様の傾向を示しています。

また、東海地方の 3 ヶ月予報(10 月 1 日気象庁発表)では、気温の高い確率が 10 月及び 11 月とも 50%の予報となっており、網管理には注意が必要です。

一方、昨漁期を通じて低かった潮位は、9 月より高・低潮位を繰り返し、不安定に推移しています。のり養殖は育苗期の順調な水温降下と適切な干出が重要なことから、張り込みのタイミングや張り込み後の網管理には細心の注意を払い、健全な種網を確保して、今漁期の生産に臨んでください。

なお、Ai-FISH では各ブイの水温・塩分など、のり養殖に必要なデータがリアルタイムで確認できますので、のり網の管理等に活用してください(図 2)。また、LINE 登録をしていただくと、各地区の栄養塩調査結果や海苔共販結果等の最新の情報を受け取ることができます。詳細については、欄外の QR コードより御確認ください。

企画情報部 企画普及グループ

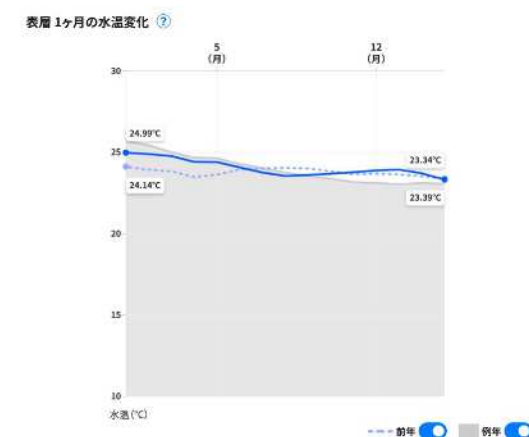


図 1 水試 3 号ブイの水温推移

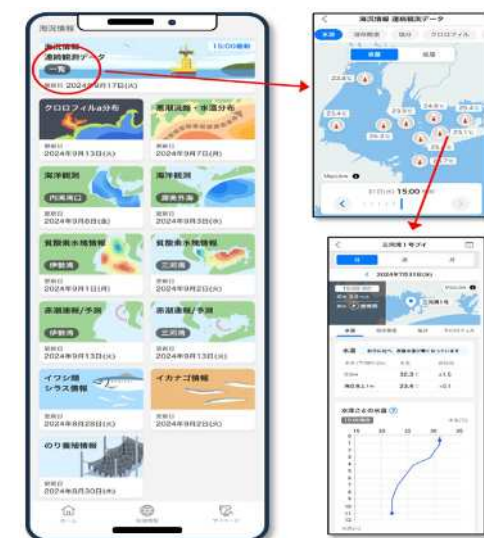


図 2 Ai-FISH(スマートフォン)の画面

金魚日本一大会で「金魚飼育相談コーナー」を開設します

内水面漁業研究所 観賞魚養殖グループ

日本を代表する金魚産地の弥富市で、本年も「金魚日本一大会」が下記のとおり開催されます。

この大会は、金魚の日本一を競う品評会です。全国の金魚生産者や愛好家が丹精込めて育てた金魚を出品し、容姿、優雅さ、品種の特徴などが審査されます。「親魚の部」と「当歳魚の部」に分かれて品種ごとに優勝魚が選ばれ、その中から金魚日本一大賞が決まります。さらに、農林水産大臣賞や愛知県知事賞などの特別賞も設けられています。

普段はなかなか目にすることのない珍しい金魚が数多く集まり、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる催しとなっています。

当グループでは、会場内に金魚飼育相談コーナーを開設します。金魚の飼育に関して日頃から疑問に感じることがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りいただき、ご相談ください。

1 開催日時：10 月 25 日(日)午前 10 時～午後 3 時

2 開催場所：海南こどもの国(入園料・大会見学は無料)

台風など荒天により、直前での中止や日程変更となる場合があります。開催の有無は主催者の弥富金魚漁業協同組合(電話 0567-65-1250)までお問い合わせください。



図 3 昨年の金魚日本一大賞「東錦」



図 4 昨年の愛知県知事賞「和金」



図 5 大会ポスター

